



# Cisco Crosswork Hierarchical Controller 6.1

リリースノート

2023 年 5 月

Cisco Crosswork Hierarchical Controller バージョン 6.1 には、バグ修正だけでなく、新しい機能と拡張機能も含まれています。

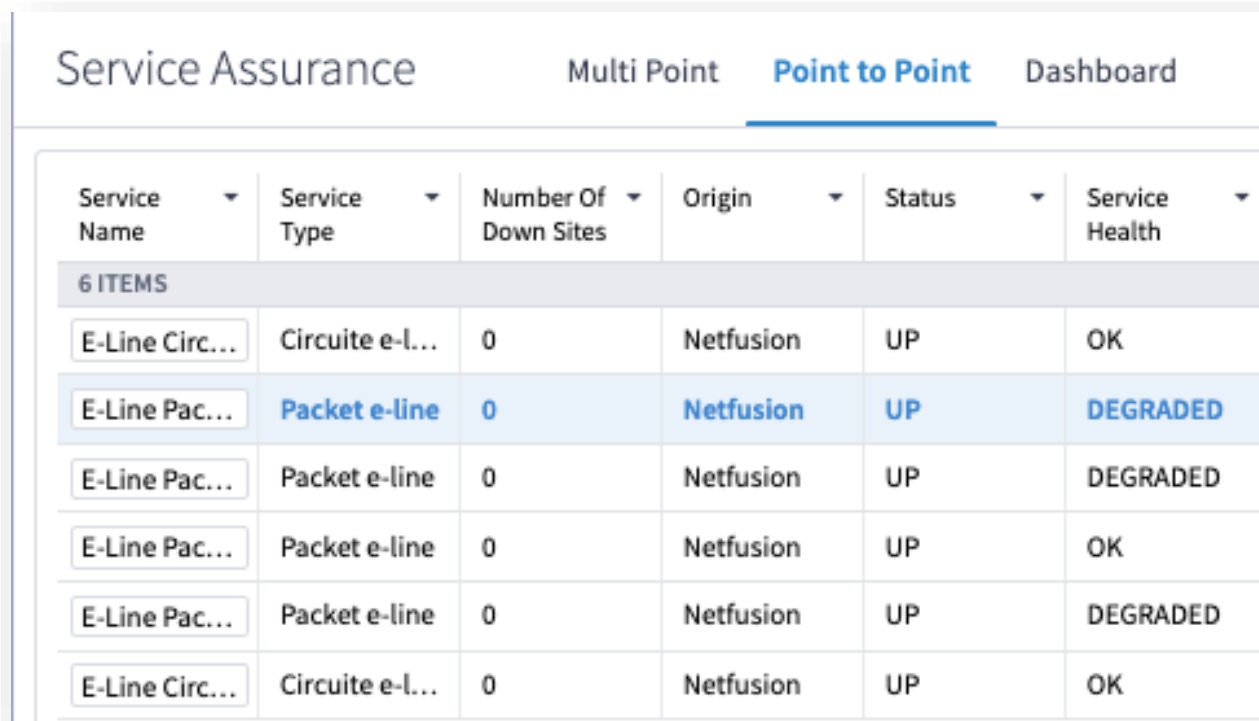
## バージョン 6.1 の注目機能

Cisco Crosswork Hierarchical Controller バージョン 6.1 には、次の新しい機能が含まれています。

- サービス正常性の表示
- EVPN サービスパスの切り替え
- EVPN サービスパスのアクティブ状態の表示

### サービス正常性の表示

Service Assurance アプリケーションで、EVPN サービスの OAM ステータスが表示されるようになりました。サービスパス上で (PM として) 継続的に実施される OAM テストにより、サービス品質の低下 (高遅延、ジッター、パケットドロップ) に関する報告が行われます。このような場合、[サービス正常性 (Service Health) ] パラメータは [DEGRADED] と表示されます。[サービス正常性 (Service Health) ] に表示されるその他の値には、[OK]、[DOWN]、[UNKNOWN]、[MONITORING\_FAILED]、[N\_A] があります。



The screenshot shows the Service Assurance interface with the 'Point to Point' tab selected. A table displays 6 items of EVPN services. The table has columns for Service Name, Service Type, Number Of Down Sites, Origin, Status, and Service Health. The second item, 'E-Line Pac...', is highlighted in blue and shows a 'DEGRADED' health status.

Service Name	Service Type	Number Of Down Sites	Origin	Status	Service Health
E-Line Circ...	Circuite e-l...	0	Netfusion	UP	OK
E-Line Pac...	Packet e-line	0	Netfusion	UP	DEGRADED
E-Line Pac...	Packet e-line	0	Netfusion	UP	DEGRADED
E-Line Pac...	Packet e-line	0	Netfusion	UP	OK
E-Line Pac...	Packet e-line	0	Netfusion	UP	DEGRADED
E-Line Circ...	Circuite e-l...	0	Netfusion	UP	OK

図 1 EVPN サービスの正常性

## EVPN サービスの非アクティブパスへの切り替え

このリリースでは、EVPN サービスパスを非アクティブパスに切り替えるオプションがサポートされています。これは、サービスが 2 つの SR ポリシーに明示的にバインドされ、一方のポリシーがより高い優先番号に設定されている場合に有効となります。スイッチで優先順位を変更し、非アクティブパスをアクティブパスに設定します。

このオプションは、選択したサービスの [アクション (Actions)] タブにある [サービスマネージャ (Service Manager)] から選択できます。

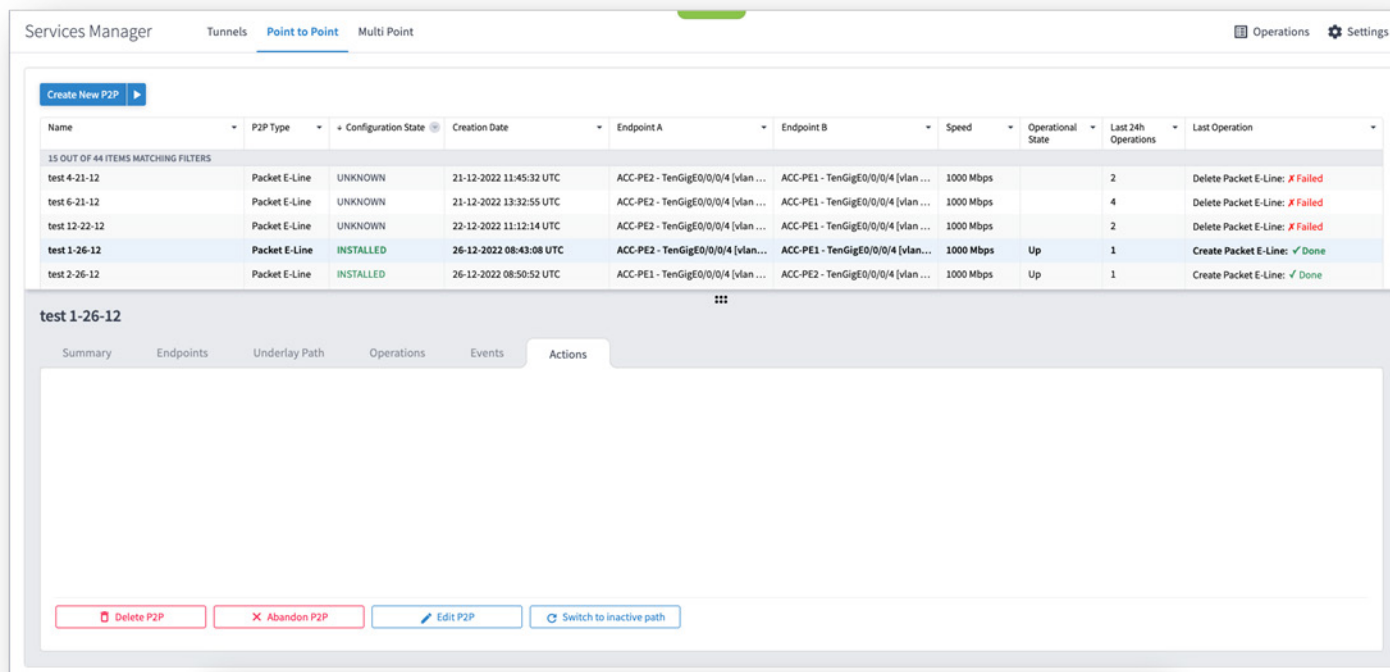


図 2 EVPN サービスの非アクティブパスへの切り替え

## EVPN サービスパスのアクティブ状態の表示

2 つの SR ポリシーにバインドされた EVPN サービスを、Service Assurance アプリケーションで表示できるようになりました。マップでアクティブパスが色分けされ、[アンダーレイパス (Underlay Paths)] タブに [アクティブ (Active)] 状態が表示されます。

アクティブパスは青色で、非アクティブパスは黄色で表示されています。

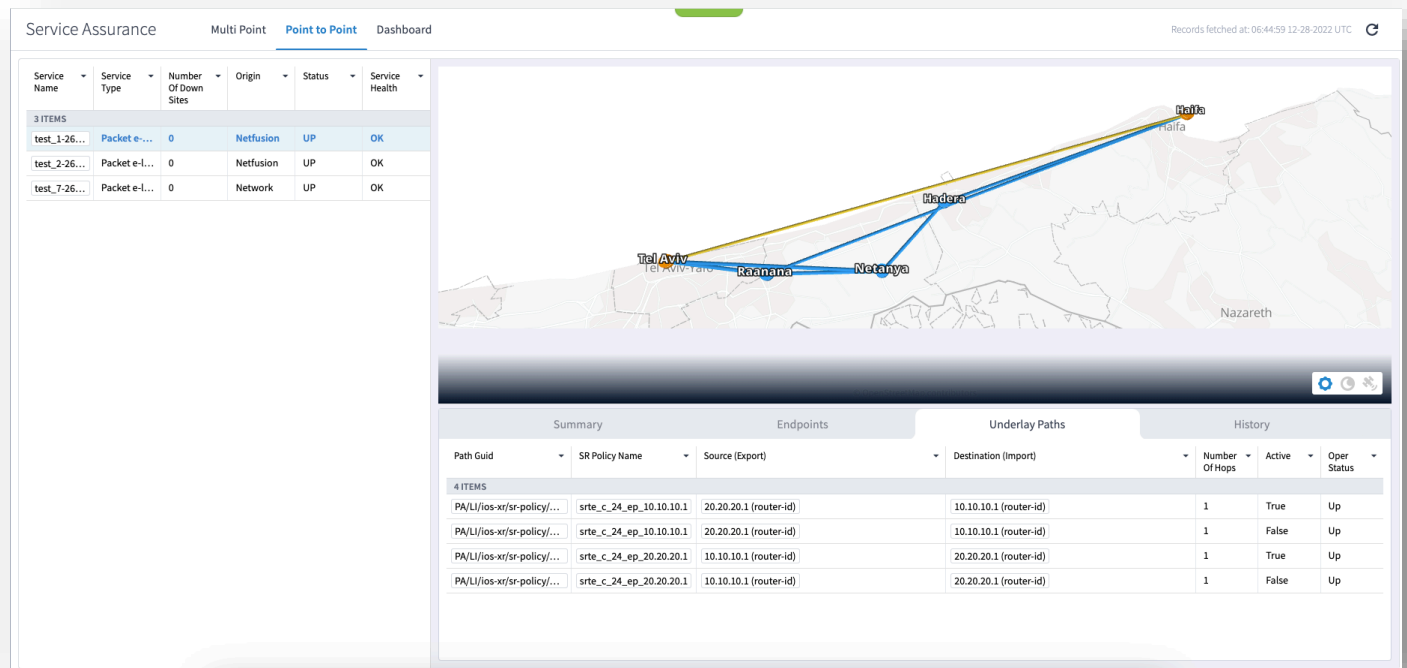


図 3 EVPN サービスパスのアクティブ状態の表示

## 解決された問題

- APP-1934。レイヤ関係のエクスポートファイルのダウンロードが遅く、エンティティが数百個含まれるファイルではダウンロードが完了するまでに 30 ~ 40 秒かかっていましたが、ダウンロード時間が短縮され、数秒以上かかる場合はわかりやすいメッセージが表示されるようになりました。
- APP-1927。[概要 (Summary) ] タブで選択したサービスの動作ステータスが、サービスが停止している場合でも常に [稼働中 (Up) ] と表示されていた ([サービス (Services) ] テーブルでは正しく表示されていた) が、これが修正されました。
- APP-2165。Root Cause Analysis アプリケーションに、EVPN (パス上の IGP リンクがダウンしたときに影響を受ける E-Line サービス) が表示されるようになりました。
- APP-2079。Service Assurance アプリケーションで、容量値がグラフに正しく表示されるようになりました。
- APP-2139。ユーザーは、UNI ポートを admin down に設定して EVPN サービスを新規作成できるようになりました。
- APP-2046。[サービスマネージャ (Service Manager) ] テーブルが正しく読み込まれ、スタックすることがなくなりました。
- APP-2071。ユーザーが 1+1 保護を要求し、保護パスが見つからない場合、サービスの作成が失敗するようになりました。
- APP-1945。サービス UNI ポートの動作がダウンに切り替わっても、選択したサービスに対して表示されるマップが更新されません。これが修正されました。

## 既知の制限事項

### 検出

- SDN-3244。複数のシェルフがあるデバイスの場合、表示されるデバイス属性は最初のシェルフの属性です。他のシェルフの属性は表示されません。
- FRNT-3831。ネットワークコントローラへの接続時に誤ったログイン情報が提供された場合、検出は失敗しますが、デバイスマネージャの [アダプタ (Adapters) ] タブに表示される [イベント (Events) ] テーブルに適切なイベントが表示されません。

### レイヤ関係

- FRB-57。現時点では、選択したプライムオブジェクトのメインパスのリンクのみが表示されます。プライムオブジェクトの保護パスで使用される関連オブジェクトは表示されません (たとえば、OMS 経由のすべての L3 リンクを表示するように選択しても、表示される L3 リンクは OMS のメインパス経由のもののみです)。

### 3D Explorer

- APP-2062。ツールチップマップに、手動で追加したクロスリンクが表示されません。クロスリンクのサイトは、オプティカルレイヤとルータレイヤ間のパイプなしでマップに表示されます。
- SDN-5541。E-Line および OTN サービスのサイドバーに、[ポート (Ports) ] タブが空の状態が表示されます。Service Assurance アプリケーションを使用して、すべてのサービスの詳細を取得してください。
- FLD-617。2 つの ZR プラガブル間の OCH リンクはメトロビューに表示されますが、その波長数はリンクのラベルとして表示されません。このようなラベルは、トランスポンダ間の他の OCH リンクには表示されません。
- FLD-603。ネットワークモデルにファイバパスが含まれる場合、タグによるフィルタマップが正しく機能しません。
- SDN-4684。3D マップのサテライト表示オプションは、クライアントマシンがインターネットに接続されている場合にのみ機能します。インターネット接続が検出されない場合でも、サテライト表示ボタンが有効のままになります。
- SDN-4396。現時点では、3D Explorer のフィルタ内にあるタグのリストがアルファベット順に表示されません。
- SDN-4221。選択したサービスで、サイドバーの [ポート (Ports) ] に表示されるサービスポートが、リンクとの一貫性のない関連付けを示す場合があります。リンクは、サービスまたは PW である場合があります。
- SDN-5751。ZR チャネルとメディアポートが、サイドバーで選択したルータの [ポート (Ports) ] タブに表示されません。

### システムモニタリング

- SDN-4424。インストール直後にシステムモニタリングページを開くと、ディスク容量の情報が空です。この情報は、設定可能なモニタリング時間 (アドミニストレーション ガイドで説明されている sedo コマンド) の後に表示されます。

## SHQL

- SDN-4016。3D Explorer アプリケーションの使用イベントが、サブタイプが Frontier として表示されます。
- APP-1942。結果が空のリストの場合、SHQL ウィジェットがダッシュボードに表示されません。

## モデル設定

- SDN-3945。[サイト (Sites) ] タブのマップでのサイト選択が、Firefox で正しく機能しません。

## 高可用性

- SDN-5722。まれに、メインノードとスタンバイノード間の手動スイッチオーバーが失敗し、スタンバイが見つからないというメッセージが表示されます。

## Link Manager

- 現時点では、アプリケーションはルータ間リンクの追加をサポートしていません。

## 運用上の考慮事項

- SDN-3440。インベントリアイテムをクエリしても、子参照が見つかりません。オブジェクトの子への変換として「downward」コマンドを使用してください。
- FLD-214。システムまたはユーザー主導のイベントは、SHQL アプリの「event」SHQL コマンドを使用して表示できます。現時点では、このアプリケーションは制限されており、1つのビューに数千を超えるイベントは表示できません。このため、イベントタイプ、サブタイプ、またはオブジェクト GUID でビューをフィルタ処理することをお勧めします。
- FLD-382。3D Explorer のサイドバーウィンドウには、集約リンク (LAG) と IP 論理リンクの可視化ビューが表示されます。このビューはデフォルトでは無効になっています。有効にするには、シスコサポートチームにお問い合わせください。
- SDN-3867。SHQL の表示オプションで、スペースを含む列名を設定できません。
- FRB-201。ユーザーがローカル接続 (LDAP など) の目的でインポートした証明書は、ソフトウェアのアップグレード後に保持されません。ユーザーはそれらの証明書を Crosswork Hierarchical Controller リポジトリに手動でコピーし、CA 証明書更新コマンド (update-ca-certificates) を実行する必要があります。
- SDN-3855。毎日バックアップの時刻が近づいているとき (数分前)、Crosswork Hierarchical Controller は再起動しないでください。再起動すると、バックアッププロセスが実行モードでスタックする可能性があります。
- SDN-5530。サイト情報を含むインポートされた GeoJSON ファイルのサイズが 20MB を超えないようにしてください。ファイルが大きい場合、そのファイルを複数のファイルに分割することをお勧めします。
- APP-1848。Network Inventory アプリケーションの新しいフィルタにより、サイトまたはデバイスによってインベントリリソースをフィルタ処理できます。Model Selector では、他のリソースタイプもフィルタとして選択できます。これは避ける必要があります。フィルタとして使用できるのはサイトとデバイスのみです。

- SDN-5713。Link Manager アプリケーションで公開される REST API は、管理者ユーザーのみが使用できます。
- SDN-5799。アダプタを有効または無効にするには、sedo コマンドを使用することをお勧めします。Device Manager アプリケーションから実行しても機能しますが、表示されるステータスが正しくない可能性があり、アダプタは一時停止されますが、コンテナは引き続き実行されます。

## アダプタ

Crosswork Hierarchical Controller 6.1 には、このバージョンで動作するように更新されたネットワークアダプタのリストが付属しています。

すべてのアダプタが一般提供されているわけではないことにご注意ください。一部のアダプタを利用できるのは特定のお客様で、GA として利用することはできません。そのため、使用前に Crosswork Product Management の関与が必要です。

表 1. アダプタ

ベンダー	プロトコル/製品	アベイラビリティ	バージョン	コンテンツと使用例
シスコ	EPNM	GA	4.0/5.1	インベントリ、トポロジ、PM カウンタの IP 検出。 プロビジョニングのサポートなし。
シスコ	IOS-XR	GA	7.2	インベントリと L2 トポロジの検出。
Infinera	DNA			顧客固有。オプティカル検出
Siae	NMS5			顧客固有。マイクロ波検出

## 展開（導入）要件

### ソフトウェア要件

Cisco Crosswork Hierarchical Controller 6.1 は、RedHat Enterprise サーバー 7.6 (Maipo) または CentOS 7.6.1810 (コア)、Oracle Linux 8.4、ベアメタルまたは VM にインストールできます。

### アップグレード

Crosswork Hierarchical Controller 6.0 は、V6.1 にアップグレードできます。

### ハードウェア要件

#### サーバーノード

この仕様は、Cisco Crosswork Hierarchical Controller のアクティブインスタンスとスタンバイインスタンス、またはスタンドアロンインスタンスを対象としています。

表 2. サーバーノードの仕様：小規模セットアップ（2000 ネットワーク要素未満）

ハードウェア	要件
CPU	10 個のコア
メモリ	96 GB
ストレージ：ラボ用	400 GB の SSD
ストレージ：実働用 (ストレージ専用、OS のニーズは含まれません)	3TB のディスク。次のパーティションをお勧めします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>OS パーティション：500 GB</li> <li>Crosswork Hierarchical Controller のデータパーティション：2,000 GB</li> <li>拡張用：500 GB</li> </ul> データパーティションには少なくとも SSD を使用する必要があります。
VM	1

表 3. サーバーノードの仕様：中規模/大規模セットアップ（2K NE 以上）

ハードウェア	要件
CPU	20 個のコア
メモリ	192 GB
ストレージ：実働用 (ストレージ専用、OS のニーズは含まれません)	3TB のディスク。次のパーティションをお勧めします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>OS パーティション：500 GB</li> <li>Crosswork Hierarchical Controller のデータパーティション：2,000 GB</li> <li>拡張用：500 GB</li> </ul> データパーティションには少なくとも SSD を使用する必要があります。
VM	1

### ウィットネスノード

ウィットネスノードは、Cisco Crosswork Hierarchical Controller の「3 ノードクラス」高可用性ソリューションの 3 番目のノードです。

表 4. ウィットネスノードの仕様

ハードウェア	要件
CPU	8 個のコア
メモリ	16 GB



ハードウェア	要件
ストレージ	256 GB の SSD
VM	1

## Web ブラウザ

Chrome バージョン 75 以降が推奨されています。

## クライアントマシン

Google Chrome を備えた Web クライアントに使用する PC または MAC には、GPU が搭載されている必要があります。これは、Crosswork Hierarchical Controller で 3D 可視化マップを実行するために必須です。

## リリースの販促アイテム

このリリースには、すべての Crosswork Hierarchical Controller バージョン 6.0 ドキュメントが関連しており、使用可能です。

次の機能が含まれています。

### ドキュメント名

[Cisco Crosswork Hierarchical Controller 6.0 Network Visualization Guide](#)

[Cisco Crosswork Hierarchical Controller 6.0 Installation Guide](#)

[Cisco Crosswork Hierarchical Controller 6.0 Administration Guide](#)

[Cisco Crosswork Hierarchical Controller 6.0 Assurance and Performance Guide](#)

[Cisco Crosswork Hierarchical Controller 6.0 Service Provisioning Guide](#)

[Cisco Crosswork Hierarchical Controller 6.0 Analytics Guide](#)

[Cisco Crosswork Hierarchical Controller 6.0 NBI and SHOL Reference Guide](#)

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

The documentation set for this product strives to use bias-free language. For purposes of this documentation set, bias-free is defined as language that does not imply discrimination based on age, disability, gender, racial identity, ethnic identity, sexual orientation, socioeconomic status, and intersectionality. Exceptions may be present in the documentation due to language that is hardcoded in the user interfaces of the product software, language used based on standards documentation, or language that is used by a referenced third-party product.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。